

こんばんは。教室長の大内です。
いよいよ明日・明後日は中学の期末試験です。
およそ3か月の休講期間があったため、
例年の1学期期末試験の内容と比べると
どうしても遅れてしまっています。

(仕方のないことです…。)

例年の1学期中間試験の範囲が、
今回の期末試験の範囲と同じくらい…
といった印象ですね。

中間試験がなくなり、
期末試験のみとなったことで
1学期の成績の大部分が
期末試験の点数で決まると考えられます。

生徒達もそのことを認識し、
明日の試験にむけて頑張っています。

(20:30 現在、今も自習室で
勉強している生徒がいます。)

みんな頑張れ！

今回、中2の理科の試験範囲には
物質をつくっている最小単位である
「原子」の内容が含まれているのですが、
この原子のしくみや性質は1803年、
イギリスのドルトンという人物によって
発表されました。
今から約200年前ですね。

しかし、発表当初はまだまだ不完全な部分があり、その後の研究で少しずつ改善され、現在に至ります。

世界は今、新型コロナウイルスと闘っていますが、

私達の体も、

目に見えないほど小さなウイルスも、すべて原子でできています。

その「原子」のしくみを人類が把握しはじめたのは今から約 200 年前。

そう考えると、この 200 年で本当に研究が進んだのだと思いますし、

まだまだ新型コロナについては手探りの状況であることも

仕方のないことなのかなと思います。

早く、新型コロナに対する研究が進み、安心して生活できる日々が訪れるといいですね。

ところで、その原子には原子記号があり、それが試験範囲になっているのですが、

私が中 2 のとき、大場先生という

中学校の理科の先生が

原子記号の覚え方を必死で考えて下さり、今でもいくつかは記憶に残っています。

おかげさまで、そのまま

理科の授業で拝借しています (笑)

いくつか紹介させていただきます。

酸素原子：O

「酸素は、おっさん。Oっさんそ」

銅原子：Cu

「どうしよう。どうしゆう。

どうシーユー。どう Cu」

リン原子：P

「プリン。Pリン」

他にもあるのですが、

これ以上は色々と失うものがありそうなので
自粛したいと思います（笑）

もう 10 年以上、拝借していますが
かなり生徒にはウケています（笑）。
大場先生、ありがとうございます！

勉強には様々な指導法がありますが、
講師側がどんなに正しいと思っても、
それが生徒に伝わらなければ
それは正しい指導法ではないと思います。
どんなにくだらない
ダジャレのような方法でも（笑）
それによって生徒達が覚えられたのなら、
それは正しい指導なのだと思います。
それに加えて、大場先生の授業は、
先生自身が頑張って研究したことが
伝わってくる…そんな授業でした。

私もそんな大場先生のように、
大人になっても心に残る講師を目指して
頑張っていきます！